

人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

No. 5

2021.9.7

みんなでラボろう！！

明石市教育委員会事務局学校教育課

mail : gakkyo@city.akashi.lg.jp

“第2回みんなでラボろう！！”が開催されました

8月31日に“第2回みんなでラボろう”が開催されました。今回は朝霧小学校さんから“我が校のイノベーション”として、研究面から、教師の成長面から、環境面から、朝霧小学校で起きているイノベーションを一ノ瀬先生、高ノ先生から話題提供していただきました。朝霧小は「社会とつながり、探究し続け、自己を高めていく児童の育成～朝霧流プロジェクト学習をとおして～」をテーマに掲げ、「新しい時代の教育」へと舵をきられました。研究そのものだけでなく、教師自身も日々子どもに負けないよう成長することをめざし、教師自身が対話しやすい環境、共通の話題を作るための図書の利用環境等、朝霧小が4月から取組まれたことを紹介していただきました。



朝霧小の話題提供を聞きながら、研究の舵を切ることにより、教師自身が社会を支える市民として成長することが必要であり、大人の学びが子どものモデルとなるといった意識変化を図られているんだと感じました。それが朝霧小の職員室で今起こっているイノベーションだと感じました。

朝霧小からの話題提供のあとの、ブレイクアウトルームでの少人数での対話では、朝霧小で起きているイノベーションについての感想を交え、各校で起きているイノベーション等の情報交換が行われました。

ブレイクアウトルームでの対話後の意見交流では、なかなか進まない校内での意識変化への悩みや、自分の中で起こっている変化等が教員側からまず出されました。一般参加者からは、職員室の敷居の高さや、教頭先生が全て窓口になってしまい、先生たちと言葉を交わす機会もないといったこと、地域や保護者とつながるためにも対話の必要性など、生の声を聞かせていただくことができました。今回の朝霧小の話題提供を聞かれ、変化の激しい社会の中で、その変化に対応できるように忙しい中でも成長しようとする先生たちの姿勢を高く評価していただきましたが、こうした学びの場に、一般参加者のお住いの校区の先生が参加されていないことに対しての寂しさも聞かせていただきました。なぜ、今「社会に開かれた教育課程」なのか、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け地域・保護者と連携・協働を行っていくのかといった新学習指導要領の理念を各校で再確認する対話が必要なのではと改めて感じました。

そんな新学習指導要領を再確認する上で参考になる動画を YouTube で見つけました。

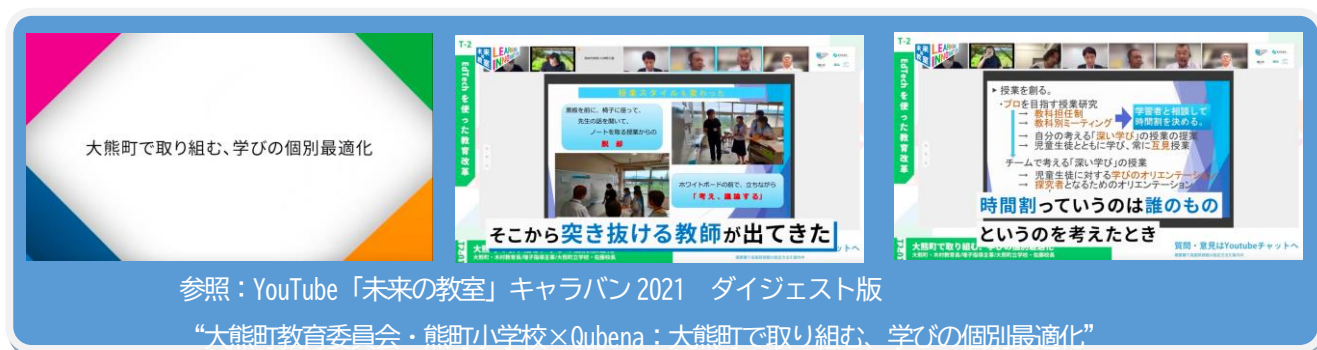
○YouTube：「未来の教室」キャラバン 2021

“大熊町教育委員会・熊町小学校×Qubena：大熊町で取り組む、学びの個別最適化”

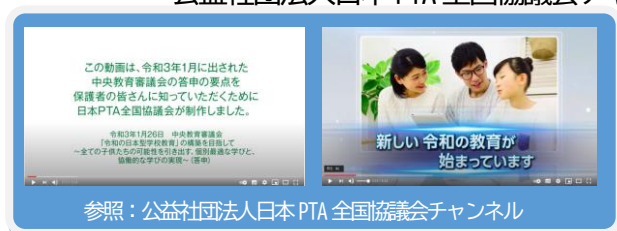
これからの学校、これからの教育を考える上で必見です。ダイジェスト版は 2 分弱ですが興味がわきます。本編は 40 分程度ですが、いろいろと考えさせられる内容です。校内研修でも、活用できると思っています。

ダイジェスト版 <https://www.youtube.com/watch?v=M8pISjHc0Q0&t=33s>

本編 <https://www.youtube.com/watch?v=5G2vPq2XA5A&t=8s>



○YouTube：【6分で解説】令和3年1月中教審答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して 公益社団法人日本PTA全国協議会チャンネル



6分程度の短い動画ですが、「令和の日本型学校教育」をわかりやすく紹介してくれています。校内研修だけでなく、保護者・地域の皆さんの啓発資料として紹介するなど活用できるのではと思います。

<https://www.youtube.com/watch?v=DlkaVCTOAIY>

★「第2回みんなでラボろう」の動画をグーグルドライブで共有させていただきます。

共有をご希望の方は Gmai アドレスを北本までご連絡ください。

→a_kitamoto@city.akashi.lg.jp

(文責：北本)